

# 未来の都市で 起こる難題を予見せよ。

学生たち一人ひとりちがうテーマで都市問題に挑む！

## Project 1 集落の自立可能性 の変遷を調査

旧筑波郡部を対象に、各集落が徒歩圏レベルの生活範囲でどのような都市サービスを受けられるかを調査。40年前と比べ、食料品や雑貨を提供するサービスが集落内から失われていることが明らかになった。



## 持続可能な 国土づくりとは？

持続可能な社会の実現には、環境容量と負荷量のバランスの検討が不可欠である。人間活動に伴う食糧・資源消費やCO<sub>2</sub>排出量を総合的に評価する「エコロジカル・フットプリント」という指標を活用し研究していく。



## 交通まちづくりと 交通行動の分析

日本の地方都市では鉄道・バスといった公共交通の利用が減り、自家用車の利用者が増加。中心市街地の衰退が進んでいる。ドイツなど海外の路面電車を先進事例として、交通のまちづくりの研究に取り組んでいく。

## 筑波大学 理工学群 社会学類 都市計画専攻 近未来計画学研究室

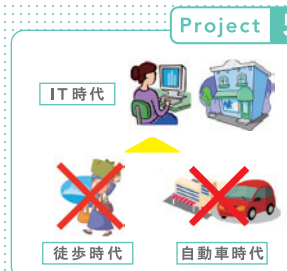


## 都市計画の研究

「まちのかたち」「環境を解く」「暮らしを変えていく」「地域で交わる」などをテーマに設け、都市が抱える問題の予見から解決への道筋を探り、持続可能な暮らしの実現を目指す。

## Project 4 都市づくり実践 コラボレーション

松江や倉敷など古くからの観光都市とのコラボレーション活動。現地へ行き、実際のまちを歩きながら商店街の店舗や道路、人の流れなどの状況を調査。市の都市計画課との意見交換なども行い、まちづくりをサポートしていく。



## ネット時代の “まち”はどうなる？

IT技術の進展で生活は変化している。自動車社会がそれまでのまちを取り巻く構造を一変させたように、サイバー空間の発達が目覚ましい今日では都市活動の分布や都市の序列がどう変化していくのかを探っていく。

先生に聞く、この研究・授業の目的は？

これから社会で起こることを  
先回りして解決する。

交通、環境、都市。これらの広い領域を横断しながら、私たちの研究室では未来の社会の課題と解決の糸口を探っていきます。共通する考え方は「持続可能性」……みんなが長く生き続けていくためにはどうしたらいいのか？という疑問から課題を探していきます。必要な視点は、公共的であること。私利私欲を満たすのではなく、社会のすべての人のためになる成果を求めています。

この研究室には、都市計画や地域行政などに興味がある学生が多く集まっています。学生が研究テーマを決める時、私は「ちょっとでもいいから役に立つこと」「人がやっていないこと」「できること」の3つを伝えています。今の行政の施策に合わせた研究をしても遅く、これから起こることを効率的に考えなければなりません。そのために、広い視野をもち、未来を良い時代へと変える力を持つ人になってもらいたいと思っています。



研究室担当教員／  
谷口 守 教授  
筑波大学  
システム情報系社会工学域

京都大学大学院博士課程修了。岡山大学教授を経て2009年より現職。主な専門は都市・地域計画、環境計画、交通計画。国連、国などの各種委員も務める。

### Profile

山口 裕 敏さん  
筑波大学 理工学群 社会学類 4年

大学・学部を選んだ理由	高校時代に頑張ったこと	これからの目標
大学の模擬授業に参加した時、おもしろかったから。「放置自転車はどうなくす？」というテーマでした。	情報メディア研究部で地理情報の研究に打ち込みました。研究の成果を学会へ投稿し受賞しました。	渋谷のような街や交通インフラなどの大規模な開発を手掛ける仕事をし、社会に役立ちたいです。

学生の学びと発見

震災後の  
援助活動の  
実態を探る。



東日本大震災発生後の募金や物品支援、現地ボランティアなど援助活動の実態を調査。町内活動に積極的な人や友達の多い人ほど援助を行っていた特徴が明らかになりました。この調査ではWebを使用し800ものサンプルを収集。援助を行った人の居住地の割合や具体的な援助内容、その背景など詳細なデータから結論を導き出してきました。

学生の学びと発見

全国のコンパクト  
シティ政策の  
課題を初調査。



将来の都市計画を立案する際、自動車に頼らずに住みやすいまちづくりとして「コンパクトシティ」を掲げる自治体が増えていきます。しかし実際に自動車の利用は減っているのか？その疑問について調査しました。その結果、まだ日本の地方では自動車に依存する都市形成が進んでいる最中で、いまだ自動車のCO<sub>2</sub>排出量が増加している傾向がわかりました。

### Profile

肥後 洋 平さん  
筑波大学 理工学群 社会学類 4年

大学・学部を選んだ理由	高校時代に頑張ったこと	これからの目標
地理学が好きだったから。高校の先生から「都市計画を学べば？」と助言をいただいたのがきっかけ。	とにかく野球。1年のうち360日練習していた感じです。県の代表校と互角の勝負もしました。	全国規模の仕事をしたい。できれば地方都市の衰退にかかわる問題に取り組む人になりたいです。